



# 北京オリンピック観戦記

## 緑がすばらしい街、笑顔で歩み寄るボランティア

一つの世界、一つの夢を掲げた、夏季北京オリンピック大会、シンクロナイズドスイミングの応援に、二日～四日行つてきました。

耳から入つてくる様々な情報、表面的にしか見ていないかも知れないが、どこまで行つても、緑が途切れることのない素晴らしい街、歓迎一色の中、人、人、人、量的にはすごいパワーを感じました。

規制はされているようですが、スムーズな車道、青空もあり視界もよくきいている、四国の面積に匹敵する北京市。しかし、過剰サービスに慣れている私たち、いささかのとまどいもありました。

ホテルに着いてもほとんど関与なし、自力で前進、言葉で困つてもほとんど歩み寄りなし、それなりに人は配置されているのに何をしているの、レストランに於いても系統的でなく、相手の立場にたつていない。ところが、オリンピック会場に近づくと、多くのボランティアの人たちは笑顔で接し、歩み寄り、大会成功のために動いていた姿を眼にしました。

きびしいチエックを何度も通

過して水泳会場へ、ああここが北島選手が二冠を達成した場かと思うと感激しました。シンクロ選手たちは、がんばつて、ガンバッテ、がんばり抜いが後押しする時です。

統制のとれたUSAコール、ヨーイン選手団の声掛け

の良さ、お行儀のよい日本、応援では最下位クラスでした。

（理事・平松悦雄、娘の友人がシンクロ選手で出場、応援で北京に）

（ある市民に来ていただき、成功させたいと思っています。支部結成総会は十二月二十日を予定しています。）

国民の食料は安心できません。ましてや食料からバイオ燃料などはもつての他と言うことになります。

（五年間）

（無利子でお願いします）

（八月六日・日中大阪府連常任理事会）

そんな中、大きな重圧をはねのけて選手は力の限り奮闘しました、極限以上の演技をした小林選手には、会場わんばかりの選手たちも、四年間がんばつて、ガンバッテ、がんばり抜いて来ました、後は私たち応援団が後押しする時です。

（このままでは、一時

（再建しようと地元の方々がこ

（再建しようと地元の方